

# 令和6年3月定例会付議事件等

令和6年2月27日  
名古屋港管理組合

## (令和6年度予算)

### 【予算編成方針】

景気は雇用・所得環境が改善するもとで緩やかな回復が続くことが期待されるが、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが下押しするリスクとなっている。また、港湾施設使用料や土地関係収入が減収となるなど、本組合の財政状況が厳しい状況にあるなか、中部圏の「ものづくり産業」を物流面で支える「国際産業戦略港湾」の実現に向けて、港の強靱化を図るとともに港湾機能強化や次世代エネルギーである水素の利活用などによるカーボンニュートラルポート（CNP）形成の促進、名古屋港水族館の機能強化に取り組むため、限られた財源を重点的かつ効率的に配分した。

また、国の「港湾の中長期政策（PORT2030）」を踏まえ、船舶の大型化等への対応に重点を置くとともに、名古屋港管理組合インフラ長寿命化計画（行動計画）に基づいた老朽化対策及び災害対策の充実強化、さらには親しまれる港づくりなど、多様な要請に応える予算とした。

### 【予算規模】

区 分	令和6年度 予算額	令和5年度 予算額	対前年度 予算 増△減率	主な増減理由
	千円	千円	%	
一 般 会 計	29,980,000	28,950,000	3.6	補助・交付金事業費 (潮風橋耐荷補強等)の増額
基金特別会計	290,900	208,900	39.3	水族館事業調査費の増額
施設運営事業会計	7,112,000	6,044,000	17.7	貸付金事業の増額 ガリクレーン 借付
埋立事業会計	1,860,000	1,502,000	23.8	西部地区埋立事業費の増額
合 計	39,242,900	36,704,900	6.9	

(注) 施設運営事業会計及び埋立事業会計については、収益的支出及び資本的支出の合計額である。

【一般会計 重点施策】 別紙1のとおり

【主な工事施行箇所図】 別紙2のとおり

## (令和5年度補正予算)

### 【予算規模】

区 分	補正前の額	補正額	補正後の額
	千円	千円	千円
一 般 会 計	29,955,997	2,016,230	31,972,227
基金特別会計	292,700	—	292,700
施設運営事業会計	6,044,000	—	6,044,000
埋立事業会計	1,502,000	—	1,502,000
合 計	37,794,697	2,016,230	39,810,927

(注) 施設運営事業会計及び埋立事業会計については、収益的支出及び資本的支出の合計額である。

### 【補正額】

一般会計

内 訳	補正額
	千円
国の補正予算及び内示差に伴う公共事業費等	2,016,230

内容?

【 令和6年度予算 一般会計 重点施策 】

区 分	令和6年度 千円	令和5年度 千円	増△減額 千円	伸 率 %	主な事業内容 千円
国際競争力及び産業競争力の強化と港湾物流の環境変化に対応した港づくり	(2,291,424) 1,073,424	(3,870,473) 1,398,473	(△1,579,049) △325,049	(△40.8) △23.2	岸壁・航路整備（飛島ふ頭岸壁改良等（直轄事業等）） 脱炭素化の推進（ <sup>R2</sup> 水素燃料電池換装型荷役機械等の導入促進事業補助金等（単独事業）） サイバーセキュリティ対策補助金（単独事業） <sup>7月コンテ</sup> その他基本計画調査（効率的な航路体系に関する検討調査等（単独事業）） <sup>アセスメント等</sup>
港湾の安全確保と大規模災害にも対応できる地域防災を目指した港づくり	(19,062,294) 11,969,194	(18,902,058) 11,794,658	(160,236) 174,536	(0.8) 1.5	泊地維持（港内泊地（直轄事業等）） 岸壁・護岸改良等（中川運河護岸改良、予防保全事業等（直轄事業等）） 臨港交通施設補修等安全対策（潮風橋耐荷補強等（補助事業等）） 港湾防災対策（港内防潮壁改良、大江川地区止水壁工事等（補助事業等）） 港湾施設保安対策（保安対策施設維持等（単独事業））
環境にやさしく、夢・うるおい・にぎわいのある親しまれる港づくり	3,833,689	3,436,585	397,104	11.6	港内環境対策等（大江川地区汚染土壌対策、臨港緑地維持等（補助事業等）） クルーズ船対応（ガーデンふ頭岸壁改良等（補助事業等）） 港湾厚生施設等（ガーデンふ頭西駐車場整備等（単独事業）） 水族館（水族館機能強化検討調査等（単独事業）） 再開発整備等（ガーデンふ頭再開発事務支援業務等（単独事業））

(注) 事業費に係る ( ) は直轄事業の国負担分を含む。

主な工事施行箇所図

港湾メンテナンス(港湾改修費)補助事業  
 ①ガーンデンふ頭岸壁改良  
 ②弥富ふ頭岸壁改良  
 ③昭和ふ頭岸壁改良  
 ④中川運河護岸改良

港湾メンテナンス(統合)補助事業  
 ①船見ふ頭岸壁改良  
 ②金城ふ頭岸壁改良  
 ③一州大橋改良  
 ④稲永陸橋改良  
 ⑤稲永ふ頭岸壁改良

海岸メンテナンス補助事業  
 ①船見ふ頭護岸改良  
 ②中川口護岸改良

高潮対策交付金事業  
 ①大手ふ頭・中川口護岸改良  
 ②大江ふ頭護岸改良  
 ③大江川河口部護岸整備  
 ④築地・ガーンデンふ頭護岸改良  
 ⑤潮見ふ頭護岸改良

弥富ふ頭整備  
 (第1貯木場北側埋立地:護岸整備等)

木場金岡ふ頭貯木場こら門改修

鍋田ふ頭コンテナターミナル整備  
 (貸付金事業)

直轄事業  
 ・飛島ふ頭岸壁改良

直轄事業  
 ・庄内川泊地しゅんせつ

飛島ふ頭整備(護岸整備等)

直轄事業  
 ・飛島ふ頭中航路増深

直轄事業  
 ・西航路拡幅

金城ふ頭整備(埋立工事等)

稲永ふ頭上屋改修

港湾メンテナンス  
 (個別施設設計画作成支援)補助事業  
 ・稲永ふ頭岸壁

港湾改修(国際拠点)交付金事業  
 ・潮風橋耐荷補強

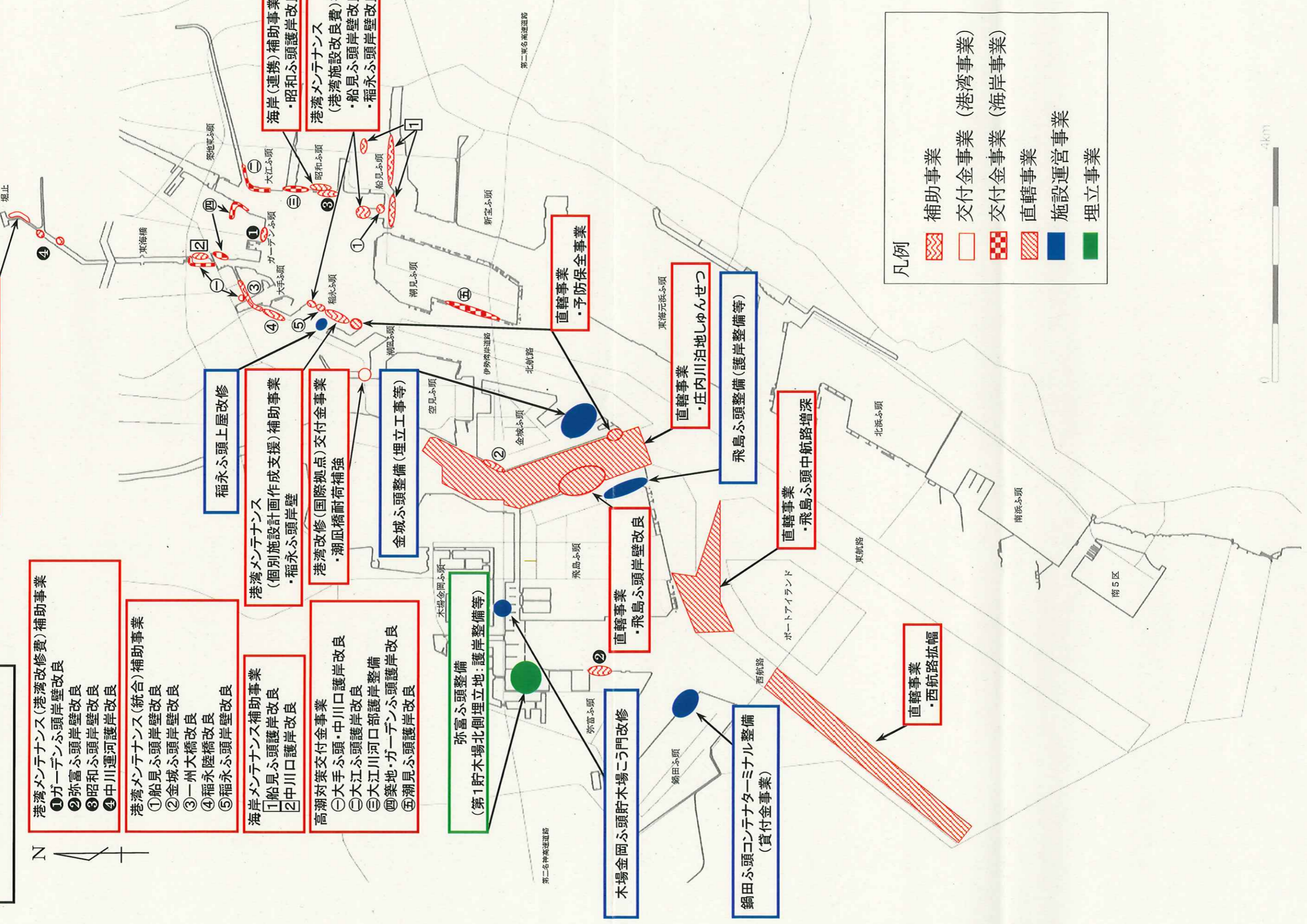
直轄事業  
 ・予防保全事業

海岸(連携)補助事業  
 ・昭和ふ頭護岸改良  
 港湾メンテナンス  
 (港湾施設改良費)補助事業  
 ・船見ふ頭岸壁改良  
 ・稲永ふ頭岸壁改良

緑地等施設整備交付金事業  
 ・中川運河(プロムナード)緑地整備

凡例

	補助事業
	交付金事業 (港湾事業)
	交付金事業 (海岸事業)
	直轄事業
	施設運営事業
	埋立事業



(予算以外の議案等)

【条例】

《名古屋港管理組合港湾施設条例の一部改正について》

(令和6年4月1日施行予定)

○改正内容

- 指定管理者制度の導入に必要な条項を新設
- 指定管理者に管理させるため、港湾施設として「道路」を追加

R2年度4月 岸壁 荷役基地 保管施設  
道路 海上屋の補修工事 耐震

《給与条例の一部改正について》

(令和5年4月1日施行予定)

○改正内容

- 職員の給与の改正
  - 給料表 (関係地方公共団体に準じ改正 (平均改定率 1.06%))
  - 期末勤勉手当 (年間支給割合 4.4月 → 4.5月)
- 関連条例の改正
  - 専任副管理者の給与に関する条例  
専任副管理者の期末手当 (年間支給割合 3.3月 → 3.4月)

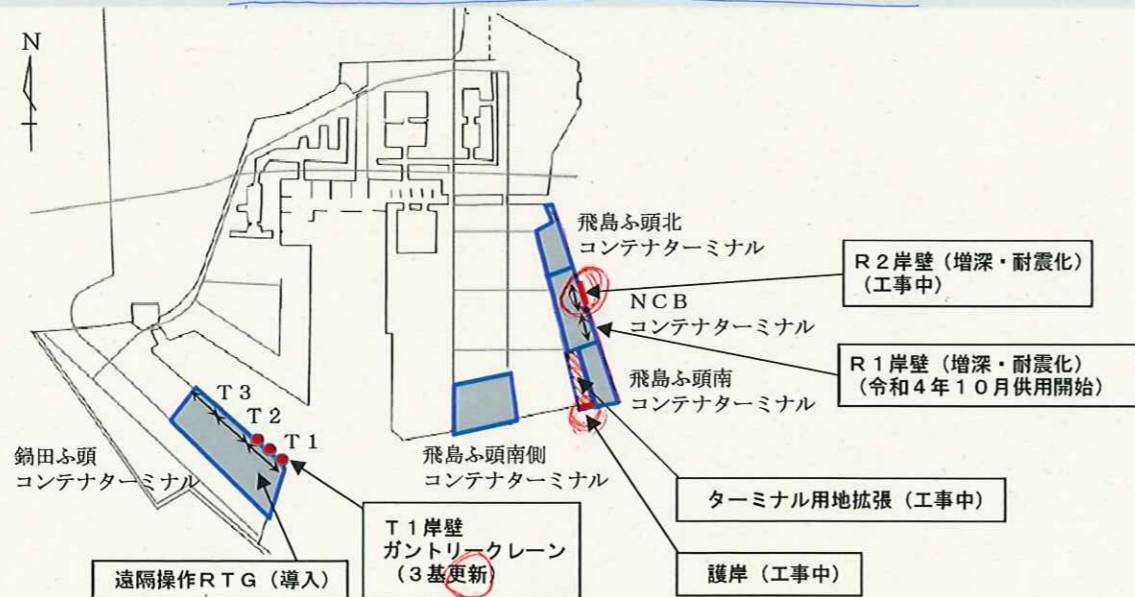
一般取組あり  
再任用 0.05 + 0.1% 上げ  
2.3 → 2.35

(議員総会その他説明資料)

《国際競争力の強化に向けた取組について》

○コンテナ取扱機能の強化

- 飛島ふ頭NCBコンテナターミナルにおいて、岸壁の増深及び耐震化に取り組んでいる。令和5年5月にR2岸壁の工事に着手し、現在、護岸部の改良工事を進めており、早期完成に向け取り組んでいく。
- 鍋田ふ頭コンテナターミナルにおいて、ターミナル運営者である名古屋ユナイテッドコンテナターミナル(株)により、遠隔操作RTGの導入が行われており、これまでにT3及びT2の一部で運用が開始され、引き続きT2、T1への導入に向けて準備が進められている。T1岸壁に設置されているガントリークレーン3基は、更新時期を迎えていることから、名古屋四日市国際港湾(株)が更新を進めている。



○カーボンニュートラルポート形成の推進

- 令和6年3月に開催する第2回名古屋港港湾脱炭素化推進協議会における議論を踏まえ、法定計画である名古屋港港湾脱炭素化推進計画を取りまとめ、令和5年度末の公表に向け準備を進めている。

【計画の概要】

項目	内容
名古屋港の目指す方向性	名古屋港は、地域のものづくり産業を強力に支援する国際産業戦略港湾として、関係者との連携のもと、「ものづくり産業の成長と地域のカーボンニュートラル実現の両立」に貢献していく。
CNP形成に向けた取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ターミナルや臨海部産業などの脱炭素化、次世代エネルギーの製造や副生物の利活用、ブルーカーボン生態系等の活用による吸収源対策を図っていく。</li> <li>➢ 次世代エネルギー供給、二次輸送を想定した次世代エネルギーハブ拠点の形成に取り組んでいく。</li> </ul>
計画期間・目標	計画期間は2050年までとし、脱炭素化に向けた取組の総合的な達成状況を的確に把握できるよう、CO2排出量の具体的な数値目標を設定した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2030年度：1,343万t (2013年度比46%削減)</li> <li>・ 2050年：実質0t (100%削減)</li> </ul>
港湾脱炭素化促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 港湾荷役機械及び物流車両を対象とした水素利活用の実証 (豊田通商(株)他)</li> <li>➢ ガントリークレーンのインバーター方式化 (名古屋四日市国際港湾(株))</li> <li>➢ 陸上電力供給設備の導入 (名古屋港管理組合) 設計終了後整備</li> <li>➢ 知多緑浜工場での水素製造 (東邦ガス(株)) 製造方法あり?</li> </ul>
港湾における脱炭素化の促進に資する将来の構想	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ CCUS事業のための施設整備 (中部電力(株))</li> <li>➢ 海外輸入水素・アンモニア受入基地の整備 (中部圏水素利用協議会)</li> </ul> どの2030? どの製造方法? 作るための?
計画の達成状況の評価	計画策定後も、港湾脱炭素化推進協議会を開催し、計画の達成状況を確認・評価するとともに、国の目標の見直しや、企業立地の変化、技術革新等の社会情勢の変化が生じた際には、適時適切に計画の見直しを行っていく。

- 今後は、水素燃料電池換装型荷役機械等の導入促進に向けた支援を行うとともに、ロサンゼルス港での港湾荷役機械やトラックの水素燃料電池化の取組などを参考にしながら、愛知県や名古屋市を始めとする関係者と連携し、コンテナターミナルの脱炭素化に向けた実証事業の検討を進めるなど、CNPの形成に取り組んでいく。

○新たな長期構想

「名古屋港の将来を考える会」を令和5年9月に設置し、ポートアイランドの利活用を含めた名古屋港全体の将来像について意見交換を行い、カーボンニュートラルへの貢献やDXなどの付加価値を高めることが重要であること、また、ポートアイランドは基本的にエネルギー拠点としつつ、物流機能としての展開や、新産業のテストフィールドとしての活用も考えられることなど幅広い意見を頂いており、それらを踏まえて新たな長期構想の検討を進めていく。

○港湾の管理運営の効率化

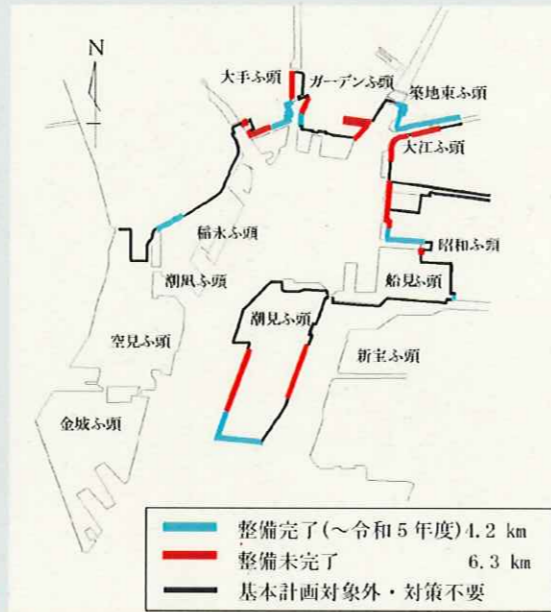
6年度中に個別指定管理業務

- 更なる港湾の管理運営の効率化に向け、**在来埠頭関連施設の管理運営業務**についても令和7年4月を目途に指定管理者制度を活用し、業務の効率化を図る予定である。併せて、港湾を取り巻く新たな環境変化にも迅速かつ的確に対応できるよう、令和7年4月を目途に本組合の組織体制を見直していく。
- 令和7年4月を目途に、現在、**名古屋港埠頭(株)**が行っている**コンテナ施設の維持修繕**を始めとする現場の関連業務を**名古屋四日市国際港湾(株)**に集約するなど、同社の機能強化に取り組んでいく。

《名古屋港の防災対策について》

○ハード対策

- 防潮壁については、地震・津波対策として、水際線に面し背後地盤高が低い区間の液状化対策を優先的に進めており、**残る6.3kmの整備**に取り組んでいく。
- 緊急物資輸送対応の耐震強化岸壁については、金城ふ頭において令和5年3月に港内4バース目となる新たな岸壁が概成し、背後の土地造成を進めている。コンテナなどの**幹線貨物輸送対応の耐震強化岸壁**については、飛島ふ頭のNCBコンテナターミナルの**R2**岸壁が令和5年5月に工事着手し、現在、**護岸部の改良工事**を進めている。



【防潮壁整備箇所図】

○ソフト対策

- 名古屋港BCP協議会作業部会及び伊勢湾BCP協議会作業部会において、**大規模地震を想定した応急復旧に関する訓練**を実施するとともに、行動計画の内容の見直しを検討した。
- 災害時の被災状況調査において、安全かつ迅速にリアルタイム映像を収集するため、**ドローンや港内カメラ**を導入しており、収集した映像を円滑に共有するための伝達方法や具体的な活用方法については、国、愛知県及び名古屋市等の各防災部局とともに検討を進めている。
- ガーデンふ頭周辺の名古屋市指定の津波避難ビルへの避難経路を分かりやすくするため、既設の避難誘導標識に加え、周辺の津波避難ビルを示した標識と、これらを補完する**路面標示**を令和6年3月に設置した。



【避難誘導標識・路面標示】

2月末完了

《親しまれる港づくりについて》

○名古屋港水族館

●入館者数

令和6年1月末日現在

期間	令和元年度	令和2年度(※)	令和3年度
4月～1月	191.1万人	76.0万人	113.3万人
期間	令和4年度	令和5年度	
4月～1月	171.0万人	204.2万人	

※令和2年4月1日～5月24日 臨時休館

- 水中で暮らす体型が細長い生物を展示する特別展「**によるEXPO～魅惑のLongBody～**」(令和5年12月16日～令和6年4月7日)を開催しており、好評を得ている。
- シャチ「ステラ」の飼育業務委託は、令和6年3月末で契約期間が満了するが、**相手方**から1年間の延長要請があったため、契約期間を延長する。
- 令和6年能登半島地震で被災された方々を支援するため、災害義援金募金箱を館内に設置している。



【特別展】

○ガーデンふ頭再開発

大改建設

- 愛知県、名古屋市と連携しながら、業務委託契約を締結した協働事業者とともに、再開発計画における事業コンセプト案などの作成や開発主体候補者の確保に向けた検討を進めている。
- 令和5年度業務の成果を確認し、事業継続を判断したうえで、令和6年度は、協働事業者と具体的な再開発計画の立案等を進め、令和7年度の開発主体の公募を目指すとともに、開発エリアの確保に向けて港湾業務機能の移転調整を進め、再開発の実現に取り組んでいく。



【ガーデンふ頭】

《名古屋港統一ターミナルシステム(NUTS)のシステム障害について》

- 名古屋港運協会は、喫緊の対策として本組合からの補助金(令和5年11月補正予算)を活用し、復旧等の作業を行っている。また、更なる強化対策として、不正アクセス防御策等に取り組んでおり、本組合は、この対策への財政支援として、本定例会での令和6年度当初予算案の上程を予定している。**1/2補助**
- 国は、有識者等による検討委員会を立ち上げ、セキュリティ対策や関連法令における港湾の位置付け等の最終的な取りまとめを公表した。
- 今後とも本組合は、国による制度的措置の具体化に向けた動向に注視しつつ、官民一体となって港湾のサイバーセキュリティの確保に向けた取組を推進していく。

3100万

## (名古屋港水族館特別委員会資料)

### 《名古屋港水族館の大規模補修と機能強化について》

#### ○大規模補修と機能強化の必要性

- 耐用年数が到来し、展示水槽では漏水が生じていることなどから、**生物の生命維持や安定した飼育展示のため、基幹的な設備の取替を行う大規模補修が必要である。**
- 混雑対策については、密集しやすい日本の海エリアや混雑が生じやすいペンギンエリアの観覧スペースを拡張するなどの改善が必要であるが、そのためには**展示水槽を集約しつつ、効果的な再配置を行う必要がある。**
- 利便性の向上については、誰もが利用しやすい、トイレや授乳室などのアメニティ設備の改善や全天候型の休憩スペースの検討、館内の配置がより分かりやすい案内サインの改善が必要である。
- 展示の魅力向上については、老朽化したデジタル技術による展示の改善や、地球環境問題の啓発など、入館者により分かりやすく伝える必要がある。

#### ○有識者会議における主な意見

令和5年度に計3回の有識者会議を開催し、以下の事項について意見を聴取した。

- <sup>8.9.1日</sup>新たな展示に向けたコンセプト・テーマへの考え方について

##### <本組合提示の考え方>

新たに過去から未来へつながる、これからの地球を考える水族館を目指していくため、「未来」を展示コンセプトとして捉える。

気候変動は、海洋生物や南極の氷に与える影響が懸念されていることから、南極を通じて地球環境や日常生活とのつながりなど、地球環境問題の啓発を進める。



【南極の海エリア】

##### <主な意見>

- 「つなげる」という言葉を使うことで、能動的に教育面や種の保存に取り組み、過去から現在、未来を「つなげる」という意味合いが強まるのではないか。
- 過去から未来への生物の進化と、未来や次世代へつながるといった意味合いがあり、時間軸の「つながり」になるのではないか。
- 名古屋港水族館の独自性を出し、気候変動をいち早くテーマとして取り上げた先進的な水族館であることを強調するとよい。

#### ● 水族館の運営面について

混雑などの対策として入館料を変動させる方策や、収入確保・公共負担、デジタル技術を活用した教育展示などについて意見を聴取した。

##### <主な意見>

##### ➢ 価格変動制 (ダイナミックプライシング) について

- ・ 何のために価格変動制を導入するのか整理しなければならない。また、窓口のオペレーションが変わるなどのコストも発生するため、慎重に考えてほしい。

##### ➢ 収入確保・公共負担について

- ・ 教育や生態系の保全など社会貢献の費用が利用者により支えられていることを知れば、入館料が多少高くても理解される。
- ・ 社会貢献の費用は公共が負担すべきであり、受益者負担は疑問である。

##### ➢ デジタル技術を活用した教育展示について

- ・ 実物があってこそその水族館であり、実物だけで伝わらない部分をデジタルで補完するような活用が望ましい。

#### ● 大規模補修と機能強化について

設備の老朽化対策、飼育環境や作業環境の改善、利便性の向上などについて意見を聴取した。

##### <主な意見>

- 施設本体の耐久性能に問題がないため、建て替えの必要はないものの、設備が老朽化しており、リニューアルが必要である。
- 飼育環境、作業環境に関して、館内が狭隘であることは理解するが、敷地内トータルで、屋外も含めた敷地の有効活用という観点で考えてほしい。
- 利用者目線でみると、案内表示は分かりにくいいため、他施設の事例等を参考にするとともに、デジタル技術の多方面の活用を検討するとよい。



【屋外施設 (しおかぜ広場)】



【参考：デジタル技術を活用した案内】  
(出典：あいちデジタルアイランドプロジェクト)

#### ○今後の予定

有識者から得られた意見を参考にしながら、基幹的な設備の老朽化対策、施設の機能強化及び運営面のほか、新たな展示に向けたコンセプト・テーマも先導的に国内外に発信できる内容となるように、更なる調査研究に鋭意取り組んでいく。

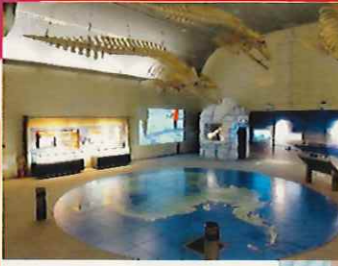
# 名古屋港水族館フロアマップ



3F

南館  
みなみかん

南極の海エリア



南極への旅

授乳室



ペンギンエリア



日本の海エリア



2F

しおかぜ広場



赤道の海2

自販機コーナー  
真珠取出し体験

くらげなごりうむ

赤道の海1 (サンゴ礁大水槽)

タッチタンク

情報ルーム

南館出口

AED



赤道の海エリア

1F

SOUTH BUILDING



北館  
きたかん

35億年はるかなる旅  
ふたたび海へもどった動物たち

展示テーマ



3F



2F

北館出口

入り口

- 総合案内
- ミュージアムショップ
- エレベーター
- お手洗い
- レストラン
- エスカレーター
- オストメイト
- 軽食コーナー
- 喫煙コーナー
- 授乳室
- コインロッカー
- フォトスタジオ
- 休憩コーナー

NORTH BUILDING